

学校法人豊南学園中期5ヵ年計画

令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）

令和2年（2020年）4月1日

建学の精神

学校法人豊南学園信州豊南短期大学・豊南高等学校・豊南幼稚園すべてに共通する建学の精神は、「自主独立」です。

学生、生徒、園児一人ひとりの心・個性・感性をしっかりと見極めた「個性が光る人間教育」を目指しています。

教育方針

教育方針として

- 一. 『責任感の強い自主独立の精神を涵養する』
- 二. 『明朗闊達な民主的人物を作ろうとする』
- 三. 『自由放逸の自然性を合理的・道徳的に向上させる』

を掲げています。

中期経営方針

1. 財政の健全化推進

- ① 経常事業収支の改善
- ② 寄附金制度の導入

2. ICT活用による教育の充実・強化

- ① ICT設備の導入拡大
- ② 研修による効果的活用の促進

3. 「建学の精神」に基づく教育の見直し

- ① 創立80周年を機に原点に戻って、今一度、豊南教育のあり方を見直す
- ② 育成すべき人間像の実現を目指す教育の実践

各部門の計画骨子

信州豊南短期大学

1. 育成すべき学生像

- ①社会人として必要な豊かな知性と感性の獲得に努力し、深い人間理解を示すことができる学生
- ②専門的な知識や技能を身に付け、状況に応じた的確な判断力や行動力を発揮することができる学生
- ③家族、友人、仲間を大切にし、他者との信頼関係を築くことに生きる価値を見出し、他者（仲間）とともに物事のより良い解決に向けて努力することができる学生

2. 教育目標と改革

- ①学習成果と 3 つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）の点検見直しによる教育改革を推進する。
- ②単位制度の実質化を図る観点からシラバス等の点検を行い、学生による授業時間以外の準備のための学習の推進を図る。
- ③GPA制度の適切な運用を図り、各学科の教育目標の達成、学習成果の獲得に向けて厳格な成績評価の実施を推進する。
- ④各学科によるナンバリング等の見直しを通じ個々の科目の位置づけを今一度明確にし、カリキュラムを十分確認、共有したうえで教育にあたる。

3. 学生支援

- ①進路指導のさらなる強化を図る。
- ②学期ごとに学生相談及び指導期間を設け、GPAも活用し、学生指導および学生支援のさらなる充実を図る。
- ③国による奨学金制度への対応を図る。
- ④課外活動、地域での活動等の活性化を図る。

4. 研究推進

- ①教員の教育能力の増進を目的に積極的に FD（ファカルティ・ディベロップメント）活動に取り組む。
- ②研究倫理及び研究費不正使用防止のための研修会の充実を図る。

5. 運営管理（学生募集含む）および設備投資

- ①学長のもとに教学マネジメント会議を立ち上げ、教育目的達成のために主に以下

の点について適切な管理運営を行う。

- ・3つのポリシーに基づく学習目標の具現化
- ・授業科目・教育課程の編成
- ・学習成果の可視化
- ・上記3項目の実現のためにFD（ファカルティ・ディベロップメント）SD（スタッフ・ディベロップメント）のさらなる充実推進を図る。
- ・教育情報の公表
- ・自己点検評価の推進及び認証評価機関による評価に向けた取り組みを行う。

②大学入試改革の内容を踏まえ、入試制度等の見直しを実施するとともにSNS等の活用した広報の充実、募集活動の点検を行い、言語コミュニケーション学科の募集状況の回復と幼児教育学科の入学者増を図る。

③公開講座等の開講を検討。参加者に科目等履修生制度、社会人入学の周知を図りこれらの制度を利用した入学者の回復を図る。

④校舎及び施設設備の補修・改修を実施する。

6. 進路対策

①実質的な就職率向上とミスマッチの防止を目指す。

そのために学生の就職に対する意識の向上を図ること、および、離職者の状況調査を実施しミスマッチの原因を究明する。

②公務員対策の強化として入学前段階からの早めの基礎学力向上に取り組む。

7. 設備・ICT化

①現在の教育をより充実させるための設備導入についてFD活動等を通じて検討し、より効果の高いICT導入の推進を図る。

②新型コロナ対策として導入したリモート授業システムのさらなる有効活用、例えば授業時間外の学びの充実に向けた検討を行い、可能なものから実践していく。

8. 入学定員確保

①入試制度改革や新型コロナ感染拡大等の社会情勢の変化がもたらす動向を見極めながらWebやSNSをこれまで以上に多用して広報活動を展開する。

②令和2年度から導入された修学支援制度を踏まえ研究し、奨学生規程及び入試制度や方法等の見直しを行い、入学者の安定・拡大を目指す。

9. その他

①教育の充実を図るために教員の中にFD活動のリーダーを育てる。

②辰野町をはじめとする地域との連携を強化するための体制を固める。

豊南高等学校

1. 育成すべき生徒像

今後社会に何度もイノベーションの波が押し寄せたとしても、その都度、新たな学びに主体的に取り組み社会に貢献できる「自立」した人間の育成

2. 教育目標と改革

①ICT を利用した教育の強化。

社会で対応できる ICT の知識を自ら習得できる力を養わせる。そのために、授業を通して使い方、活用法などを学習させる。

②生徒自らが課題を発見し、「探究」する姿勢をもてせる。

そこから知識、考察を深めさせる。

③生徒の自主活動、自治活動を側面より支える体制づくりを図る。

3. 進路対策

①指定校推薦の拡充

②「探究」に主体的に取り組んでいる生徒に発表の機会を与え、外部の発表会やコンクールに参加させ、大学進学につなげていく。

③基礎学力の定着のため、自主学習の習慣を身につけさせる。

4. 設備・ICT 化

①全授業で ICT を活用でき環境を整える。

同時に教員の ICT 教育を進める。

②「探究」の授業に備えて、施設の整備、部活動に対応するための設備を整える。

③生徒数増加の場合はその対応のための設備投資を、また志木総合グラウンドの増設などを行う。

5. 入学定員確保

①今後の少子化の波に備えて、地方の私学から学び、特色を打ち出し、特化した分野を創造し単願者増を狙う。

②特進、選抜コースの定員確保を継続し、2023 年度入試を目標に特進、選抜コースの再編を行う。

6. その他

①第一校舎内外の改修工事を行う。

豊南幼稚園

1. 育成すべき園児像

自分で考えて行動できる子
子供らしい元気な子

2. 教育目標と改革

- ①楽しい幼稚園生活の中で、日常の生活習慣を養い、丈夫で明るい子、自立心ある意欲的な子を育てる。
- ②のびのびとした遊びを通した総合的教育の中で多くを体験させ、一人ひとりの個性を大切に育てる。
- ③地域に根差した幼稚園を目指す。
- ④職員の労働意識改革および労働環境の整備を図る。

3. 設備・ICT化

- ①同じ敷地内にある高校施設を有効活用する。
- ②より安全で明るい施設の維持、強化を図る。

4. 入園定員確保

- ①入園広報部を設立し園児募集強化を図る。
- ②ひよこ組（2歳児）、リトミックの認知度を高める。
- ③ホームページの充実を図る。（3年ごとの見直し）
- ④保育料無償化を積極的にアピールする。
- ⑤預かり保育時間延長を研究する。

5. その他

- ①幼稚園70周年記念イベントの準備をする。

以上